

分娩室でのリラクゼーション映像演出システム

オピタル矢吹産婦人科 様

<http://hopital-yabuki.com/>

■ 設計

有限会社デルタデザイン 様
<http://deltadesign.co.jp/>

■ 納入

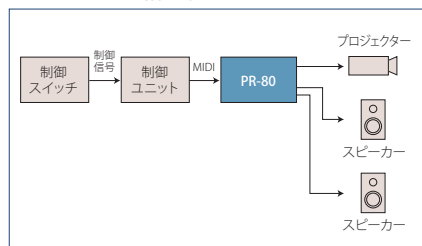
株式会社音響商会 様
<http://www.onsho.jp/>

ビデオ送出機

■ 導入機器

リアルタイム・ビデオ・プレゼンター PR-80

■ システム構成



■ 施設紹介

大阪府豊中市のオピタル矢吹産婦人科は、光、ヒーリング・ミュージック、映像、そしてアロマが香る「VIVO分娩サポートシステム」をはじめ、ホテルのような病室、フレンチ・レストランやカフェ、エステティック・サロンといった女性と子供のための施設を備えた病院です。

■ システム概要

出産のプロセスに合わせて環境が変化し、リラックスした状態の分娩をサポートします。外部制御システムより送出されるMIDI信号をリアルタイム・ビデオ・プレゼンターPR-80が受信し、映像／音声を送出。映像は、プロジェクターにより分娩室内の天井に投影されます。

■ 導入ポイント

■ オピタル矢吹産婦人科 院長 矢吹様・談

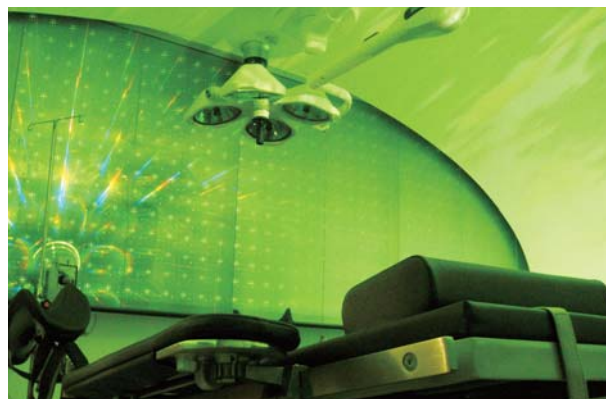
自然分娩を基本としている当院にふさわしい方法で妊婦さんを深いリラックス状態に導くため、「光と音のゆりかご」というコンセプトでVIVO分娩サポートシステムを構築しました。出産直後の新生児はずっと泣き続けるのが常ですが、導入後は、肺を膨らますために泣いたあとすぐに眠りはじめ、ときどき目を覚ましては不思議そうにキョロキョロしたりするようになりました。妊婦さんだけでなく、新生児もリラックスできる分娩室になったと思います。

■ 有限会社デルタデザイン システムデザイナー 渡邊様・談

外部からの制御で映像も音声もクロスフェードが行えるというのがPR-80を導入した最大の理由です。普通の映像用サーバーや多くの映像送出機ではできません。今回のシステムでは映像が途中で突然切り替わったり、切り替わりがモタつくという意味がなく、クロスフェードが絶対必要でした。また、PR-80は操作画面が直感的で簡単なので、万が一のトラブル時には手動操作で対処できるので安心です。



▲オピタル矢吹産婦人科



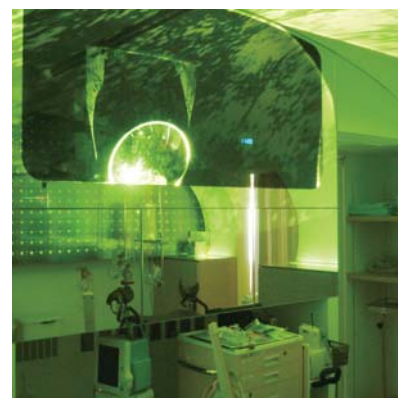
▲分娩室での「VIVO分娩サポートシステム」。天井投影された映像演出の様子



▲省スペースのため縦に設置されているPR-80



▲PR-80の操作画面



▲「光と音のゆりかご」で、より自然な分娩が可能に